DENON

ホームシアターシステム

DHT-FS5

取扱説明書

安全にお使いいただくためにー必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

総目次

ご使用になる前に

設置のしかた

接続のしかた

設定のしかた

操作のしかた

その他の機能

故障かな？と思ったら

保証とサービスについて

主な仕様

ご使用になる前に

付属品について

ご使用の前にご確認ください。

オーディオケーブル …1 本 （ケーブルの長さ：約 1.5m）	リモコン (RC-1094)…1 個 単 4 形乾電池 …………2 本
光伝送ケーブル ……… 1 本 （ケーブルの長さ：約 1.5m）	フット …………………4 個
壁掛け金具 ………… 2 個	壁掛け金具用ねじ … 4 本

取扱説明書 (本書) ………………………………………1 冊
製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表 ……………1 枚
保証書【梱包箱に添付】

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

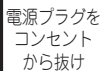
電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜け

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは

電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水をかけたり、濡らしたりしない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら

機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

必ず実施

禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードをコンセントに確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。
また、接続には指定のケーブルを使用してください。指定以外のケーブルを使用したり、ケーブルを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

必ず実施

禁止

電池を交換するときは

- 極性表示に注意し、表示通りに正しく入れる
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外してからおこなってください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

5 年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

本機の特長

❑ 独自開発 X-SPACE SURROUND アルゴリズム解析による音場の創出

本機は、臨場感たっぷりのサラウンド効果を得ることができる独自開発の X-SPACE SURROUND アルゴリズム解析技術を搭載しています。広い視聴エリアと自由度の高い設置ポジションも確保しました。
必要最低限のスピーカーでサラウンドサウンドを構築できるため、複数のスピーカーの干渉が少なく、自然なサウンドを得ることができます。また、ユニットの特性を引き出す緻密なイコライジング処理により繊細な音楽のディテールから迫力ある映画のワンシーンまで再現することができます。

❑ 豊富なサラウンド再生

DVDの音声標準フォーマットのドルビーデジタルやオプションフォーマットの DTS デコーダーの搭載はもちろん、地上デジタル放送や BS デジタル放送が採用している AAC 音声フォーマットのデコーダーも搭載しています。DVD やデジタル放送から映画、音楽、スポーツやバラエティーなどを幅広く、たくさんのサラウンドソースを臨場感たっぷりにお楽しみいただくことができます。
また、ステレオソースをサラウンド再生するドルビープロロジック II デコーダーを搭載し、様々なソースのサラウンド再生をお楽しみいただけます。

❑ レイアウトフリー

平置きはもちろん、付属の専用金具を使って壁掛けにすることもできます。

❑ その他の機能

- オートパワーオフ
- SDB 回路搭載 (重低音強調)
- 待機時消費電力 0.5W

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

“DTS” はデジタル・シアター・システムズ社の商標です。

❑ AAC に関する米国パテントナンバー

08/937,950	08/678,666	5,299,240
5848391	98/03037	5,197,087
5,291,557	97/02875	5,490,170
5,451,954	97/02874	5,264,846
5 400 433	98/03036	5,268,685
5,222,189	5,227,788	5,375,189
5,357,594	5,285,498	5,581,654
5 752 225	5,481,614	05-183,988
5,394,473	5,592,584	5,548,574
5,583,962	5,781,888	08/506,729
5,274,740	08/039,478	08/576,495
5,633,981	08/211,547	5,717,821
5 297 236	5,703,999	08/392,756
4,914,701	08/557,046	
5,235,671	08/894,844	
07/640,550	5,299,238	
5,579,430	5,299,239	

準備の手順

設置する（☞7、8 ページ）

接続する（☞9、11 ページ）

簡単に設定する（☞12 ページ）

再生する（☞13 ページ）

この他にもいろいろな設定や操作がおこなえます。

❑ テレビ音声の再生（☞13 ページ）

ステレオ音のエチケット

- 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

取り扱い上のご注意

携帯電話のご使用について

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入ることがあります。携帯電話は本機から離れた位置でご使用ください。

お手入れについて

本機の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用してください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

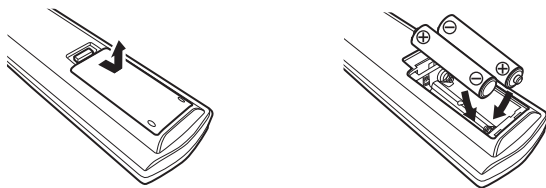
ご注意

ベンジン、シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますのでご使用にならないでください。

リモコンについて

乾電池の入れかた

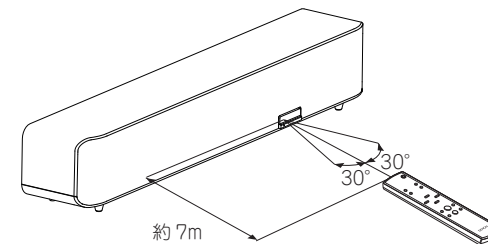
① 矢印のようにロックレバーを押して引き上げる。

② 単 4 形乾電池（2 本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れる。

③ 裏ぶたを元通りにする。

ご注意

- リモコンには単 4 形乾電池をご使用ください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示通りに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入したりしないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 乾電池を交換するときは、あらかじめ交換用の乾電池を用意し、できるだけ速やかに交換してください。

リモコンの使いかた

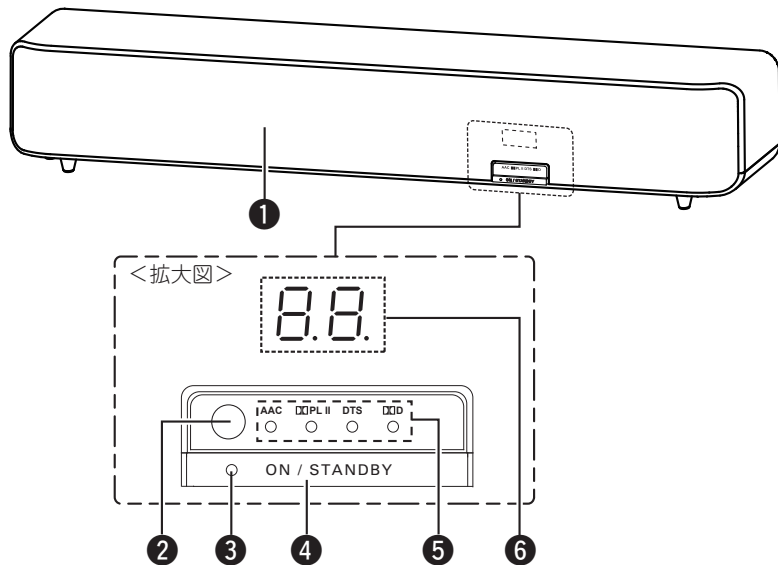
リモコンはリモコン受光部に向けてご使用ください。

ご注意

リモコン受光部に直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線が当たると、誤動作をしたり、リモコンが操作できなくなったりする場合があります。

各部の名前について

各部のはたらきなど詳しい説明については、（ ）内のページを参照してください。

本体

❑ フロントパネル

❶ **スピーカー部**

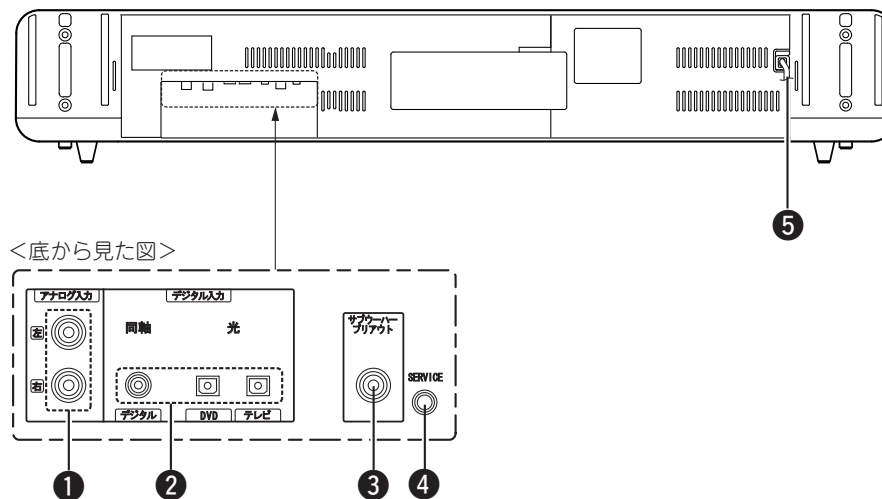
❷ **リモコン受光部** ………………………… (5)

❸ **電源表示** …………………………… (12)
電源表示の色は、状態によって次のように変わります。
電源オン時　：緑色
スタンバイ時　：赤色

❹ **電源操作ボタン（ON/STANDBY）** ………………… (12)
押すと電源が入り、もう一度押すと電源がスタンバイ状態になります。

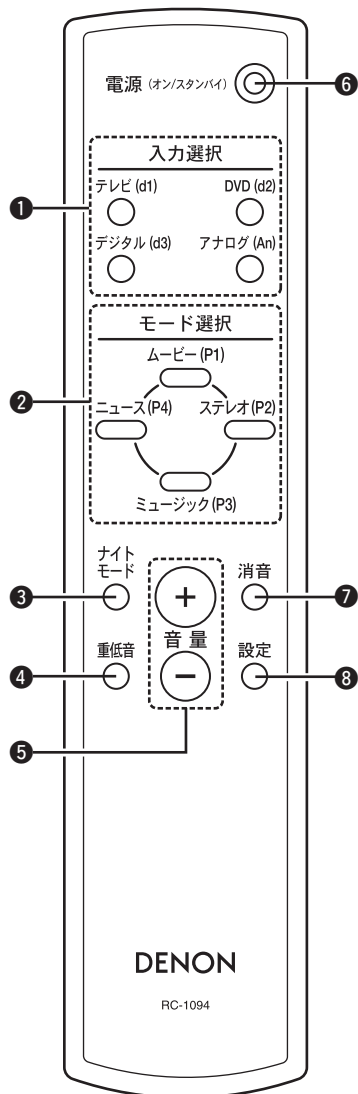
❺ **入力信号およびサラウンドモード表示** …………… (13)

❻ **ディスプレイ**

❑ リアパネル

❶ **アナログ音声入力端子** ………… (9,10)

❷ **デジタル音声入力端子（光 / 同軸）** ……………………… (9,10)

❸ **サブウーハー音声出力端子** ……… (10)

❹ **サービス端子**
サービス専用端子です。
ご使用にならないでください。

❺ **電源コード** ………………………… (11)

リモコン

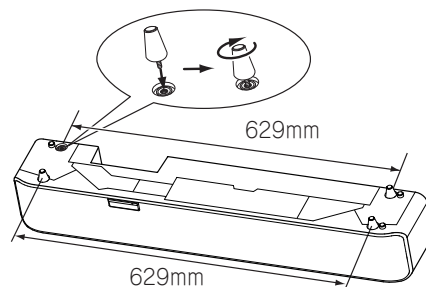
❶ 入力選択ボタン ························ (13)
❷ モード選択ボタン ····················· (13)
❸ ナイトモードボタン ················· (13)
❹ 重低音ボタン ·························· (13)
❺ 音量調節ボタン ······················· (13)
❻ 電源ボタン ····························· (12)
❼ 消音ボタン ····························· (13)
❽ 設定ボタン ····························· (12)

設置のしかた

設置について

2 つの設置バリエーションからお選びください。

平置き

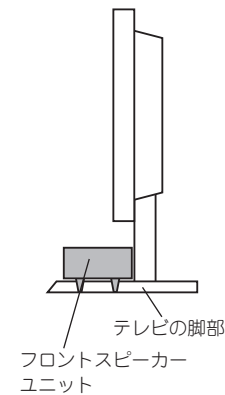
フットを本体底面のねじ穴へ取り付けてください。

ご注意

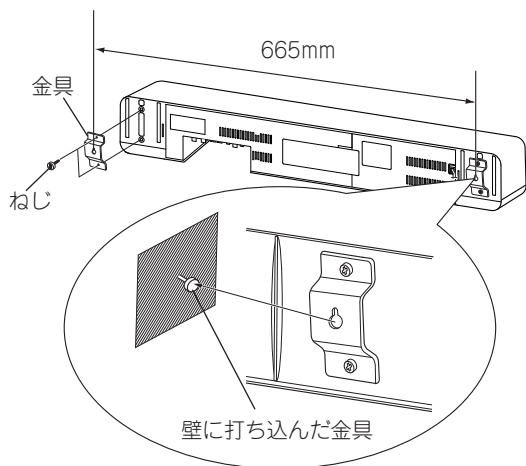
本機が傾かないように、フットはしっかり取り付けてください。

- ねじタイプのフットを使うと、フラットテレビの脚部を本体の底のスペースに入れることができます。

※テレビの形状によって図のように設置できない場合があります。

※本機でテレビのリモコン受光部を隠さないようご注意ください。

※ブラウン管テレビまたは、ブラウン管モニターに色むらが生じた場合は、できるだけ本機を離してご使用ください。

壁掛け

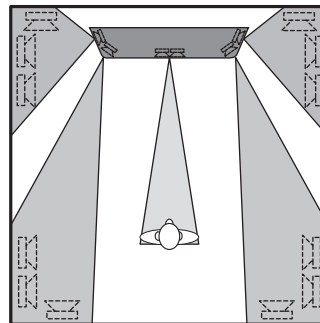
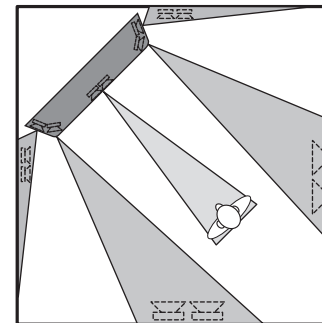
付属の壁掛け金具 2 個を付属のねじで本体にしっかりと取り付けてください。

警告

- 安全にお使いいただくために、本体の上に物をのせたり、寄り掛かったりしないでください。
- 壁への取り付けは安全性確保のため、専門施行業者へ依頼してください。
- 接続ケーブルを足や手に引っ掛けて本機を落下させることのないように、必ず壁などに固定してください。
- 取り付け後は必ず安全性を確認してください。また、その後、定期的に落下の可能性がないか安全点検をおこなってください。取り付け場所、取り付け方法の不備による損害、事故について、弊社は一切その責任を負いません。

最適な設置レイアウトについて

本機は、フロントスピーカーのみで、リアルなサラウンド臨場感を再現することができます。

理想的な配置例

＜壁と平行に設置＞

＜コーナーに設置＞

設置のポイント

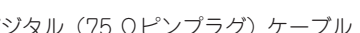
次のように設置すると、よりよいサラウンド効果が得られます。

- 視聴の際は本体から 1m 以上離れて聴く。
- 本体を左右の壁から離す。
- テレビラックに収納する際は、ラックの前方に置き、扉を開いて使用する。

ご注意

本機の上にテレビなど、大きなものや重いものをのせないでください。

部屋の大きさや本機とリスニングポジションの距離などに合わせて、「簡単設定のしかた」で設定するとより臨場感を再現することができます（☞12 ページ）。

接続のしかた

- 本機では 3 つのデジタル音声の入力およびアナログ音声の入力ができます。
- ここでは DVD プレーヤー、テレビやサブウーハーの接続について説明します。

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくＬとＬ、ＲとＲを接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードと一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因になります。

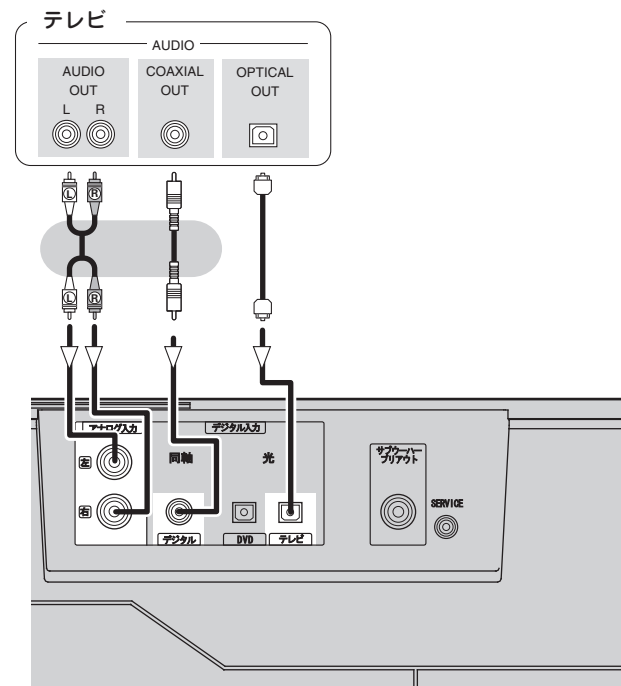
接続ケーブルの表示

下記に示す接続ケーブルを使用して、他の機器を接続してください。

音声ケーブル	信号方向
同軸デジタル接続（別売り） （オレンジ） 同軸デジタル（75 Ωピンプラグ）ケーブル **光デジタル接続（付属）** 光伝送ケーブル **アナログ接続（ステレオ）（付属）** （白） （赤） オーディオケーブル **アナログ接続（モノラル、サブウーハー用）（別売り）** （黒） ピンプラグケーブル	**音声信号：** 出力 → 入力 入力 ← 出力

テレビの接続

デジタル放送番組のサラウンド対応番組をお楽しみいただくために、デジタルテレビとの接続には、デジタル音声接続をおすすめします。

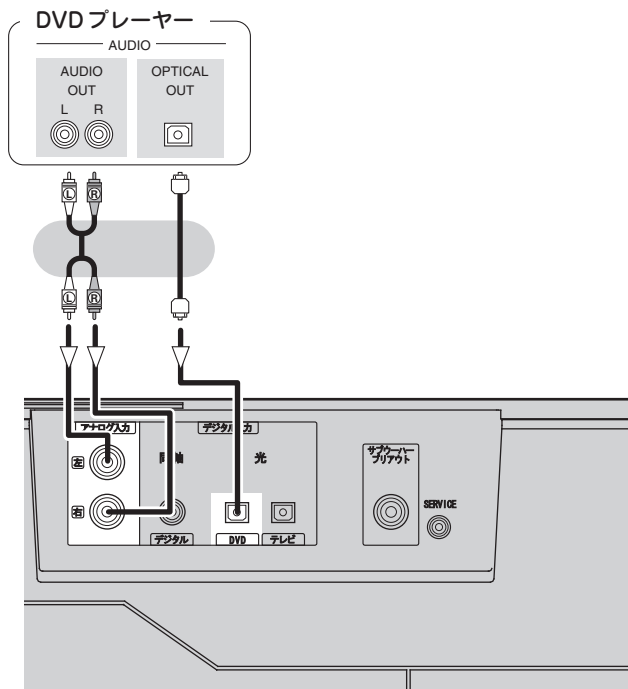
<底から見た図>

テレビの音声を本機で再生するときは、テレビの音量を最小にしてください。

ご注意

付属の光伝送ケーブル挿入時には先端のキャップをはずしてください。

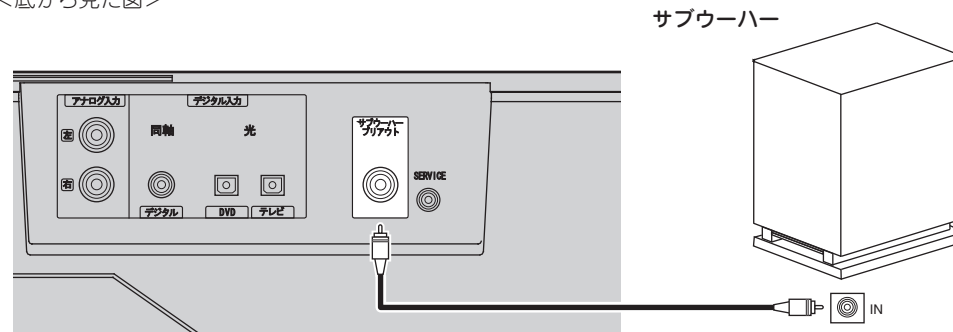
DVD プレーヤーの接続

- サラウンド再生をお楽しみいただくために、DVD プレーヤーとの接続には、デジタル音声接続をおすすめします。
- DVD プレーヤーの映像出力は、テレビの映像入力に接続してください。

＜底から見た図＞

DVD プレーヤーとテレビの接続については、DVD プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

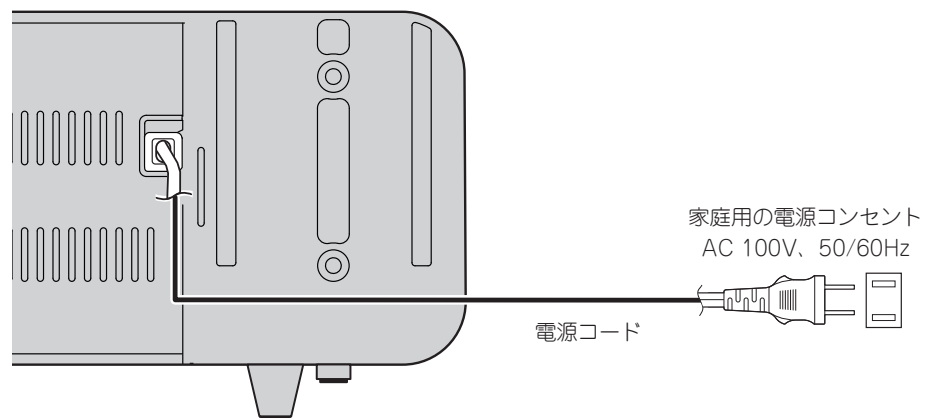
サブウーハーの接続

本機のサブウーハープリアウトのクロスオーバー周波数は 150Hz です。
クロスオーバー周波数が 150Hz のサブウーハーのご使用をおすすめします。

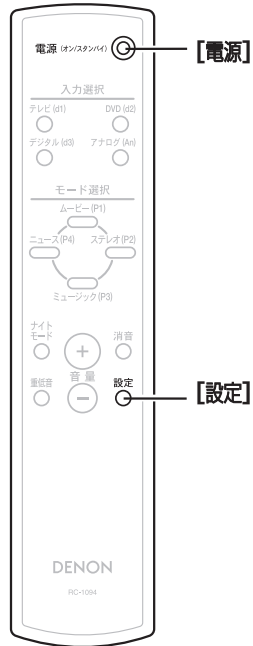
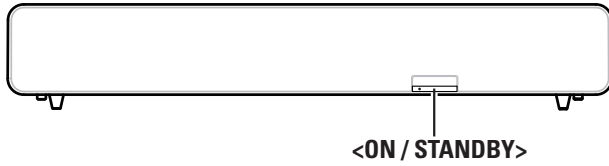
＜底から見た図＞

- 本機に市販のアンプ内蔵サブウーハーを接続することで、さらなる重低音効果を楽しむことができます。
- ピンプラグケーブル（別売り）を使って、アンプ内蔵サブウーハーをサブウーハープリアウト端子に接続してください。

ご注意

本機はサブウーハープリアウトの接続を検出して本機での再生音を調整します。サブウーハーをご使用にならない場合は、サブウーハープリアウトの接続をおこなわないことをおすすめします。

電源コードの接続

ご注意

電源プラグは確実に差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。

<ON / STANDBY>

操作説明のボタン名について
< >：本体のボタン
[ ]：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

設定のしかた

まずは「簡単設定のしかた」でリスニングルームを設定します。

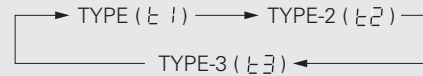
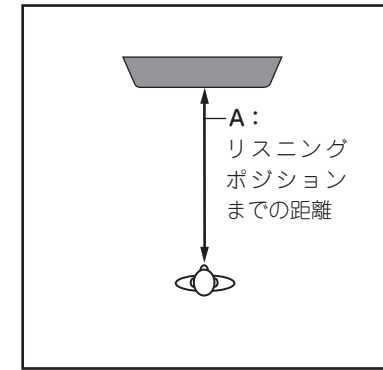
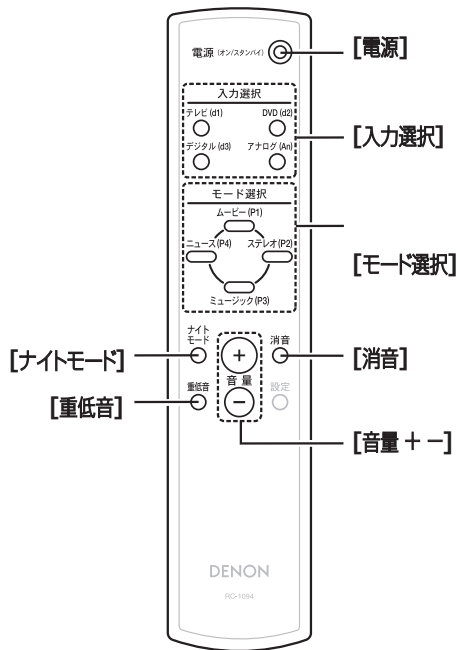
電源を入れる

<ON/STANDBY> または [電源] を押す。
電源表示が緑色になり、ディスプレイに入力ファンクションを約5秒間表示します。また、入力信号およびサラウンドモード表示が点灯します。

ご注意
スタンバイ時でも、微量な電力を消費しています。

簡単設定のしかた

リスニングルームで [設定] を押す。

TYPE (t 1) → TYPE-2 (t 2) → TYPE-3 (t 3) →

- 現在の設定モードを約５秒間表示します。
- お買い上げ時の設定は“TYPE-3”です。

	TYPE-1	TYPE-2	TYPE-3
A	1.5m	2.1m	2.7m
部屋の大きさ	約６畳	約 10 畳	約 15 畳

操作説明のボタン名について
<　　　>：本体のボタン
[　　　]：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

操作のしかた

テレビ音声の再生のしかた

1 [入力選択] でテレビを接続した入力ファンクションを選ぶ。
選択された入力ファンクションをディスプレイに約５秒間表示します（d1～d3，An）。

2 [モード選択] でサラウンドモードを選ぶ。

モード	ディスプレイ表示（約５秒間表示）	特長
ムービー	P 1	映画ソースを広がりのある音場の雰囲気で楽しめます。
ステレオ	P2	2ch 音楽ソースの再生に適したモードで、2ch ステレオシステムのように正面から再生される音場の雰囲気で楽しめます。
ミュージック	P3	ミュージックライブソースの再生に適したモードで、音楽を広がりのある包みこむような音場で楽しめます。
ニュース	P4	テレビのニュース番組やドラマなどの台詞を聞きやすくします。

- お買い上げ時の設定は“ムービー”です。

※ 再生するソースによっては、十分な効果を得られない場合があります。このような場合は、サラウンドモードの名称にこだわらずに各モードを試して、お好みの音場でお楽しみください。

※ テレビ音声の再生中、放送がＣＭに切り替わった途端に音量が大きくなることがあります。これは音声入力信号が切り替わったことによるものであり故障ではありません。この音量差が気になる場合には、信号の違いによる音量の差が少ない“ムービー”、“ミュージック”モードでの再生をおすすめします。

3 選んだ機器の再生を始める。

※ 操作のしかたは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

4 [音量＋－] で音量を調節する。
音量レベルを表示します。

※ 音量は０～34 の範囲で調節できます。

一時的に音を消すには

[消音] を押す。
ディスプレイに現在の音量レベルが表示され、電源表示が緑色に点滅します。

※ もう一度 **[消音]** を押すか音量を調節すると解除され、電源表示が緑色に点灯し､5 秒後に音量レベル表示が消灯します。

重低音を強調するには

[重低音] を押す。
ディスプレイに現在の設定が約5秒間表示されます。。
現在の設定を表示中にもう一度 **[重低音]** を押すと、“On（on）”と“Off（oF）”が切り替わります。

- お買い上げ時の設定は“On”です。

夜間など小音量で聴くときには

[ナイトモード] を押す。
ディスプレイに現在の設定が約５秒間表示されます。
現在の設定を表示中にもう一度 **[ナイトモード]** を押すと､“On（on）”と“Off（oF）”が切り替わります。

- お買い上げ時の設定は“Off”です。
- 夜間など小音量で聴くときに“On”にするとセリフなどが聴きやすくなります。
- “Dolby”のデジタル入力音声に有効です。

その他の機能

アナログ入力感度の設定

[アナログ（An）] を３秒以上長押しする。

- ディスプレイに約５秒間“Hi（hi）”と表示され、入力感度が＋６dB に設定されます。
- もう一度 **[アナログ（An）]** を３秒以上長押しすると、ディスプレイに約５秒間“Lo（Lo）”と表示され、入力感度が０dB に設定されます。
- お買い上げ時の設定は“Lo”です。
- 入力感度を“Hi”に設定し音が歪むときは、設定を“Lo”に戻してください。

オートパワーオフ

未入力状態が 10 分続くと、スタンバイ状態になります。

[電源] を３秒以上長押しする。

- ディスプレイに約５秒間“Off（oF）”と表示され、オートパワーオフ機能が解除されます。
- もう一度 **[電源]** を３秒以上長押しすると、ディスプレイに約５秒間“On（on）”と表示され、オートパワーオフ機能が設定されます。
- お買い上げ時の設定は“On”です。

※ 接続する機器によっては、オートパワーオフ機能が働かない場合があります。このような場合は、オートパワーオフ機能を“Off”に設定し、手動で本機の電源をオフにしてください。

マイコンの初期化

各種設定内容をお買い上げ時の設定に戻します。

[設定] を３秒以上長押しする。

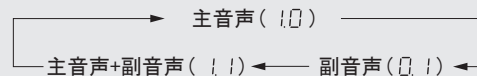
- ディスプレイに約５秒間“RESET（rE）”と表示され、各種設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。

二重音声の設定

二重音声情報を含むデジタル入力ソースに対して、出力する音声を設定します。

[ニュース（NEWS）] を３秒以上長押しする。

次のように設定が切り替わります。

→ 主音声（1.0）→ 副音声（0.1）→ 主音声+副音声（1.1）→

- 現在の設定モードを約５秒間表示します。
- お買い上げ時の設定は“主音声”です。
- この設定をおこなうとサラウンドモードが“NEWS”に切り替わりますので、ご希望のサラウンドモードに設定しなおしてください。

ご注意

二重音声の設定は、二重音声情報を含む AAC ソースおよびドルビーデジタルソースに対して有効です。
その他のソースについては、ソースの機器側で出力する音声を設定してください。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

故障かな？と思ったら

❏ 各接続は正しいですか
❏ 取扱説明書に従って正しく操作していますか
❏ スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、弊社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現　象	原　因	処　置	関連ページ
電源を入れても、ディスプレイが点灯せず、音も出ない。	● 電源プラグの差し込みが不完全である。	● 電源コンセントへの、電源プラグの差し込みを点検してください。	11
ディスプレイは点灯するが、音が出ない。	● 入力選択ボタンの位置が不適当である。	● 正しい位置に切り替えてください。	13
	● 音量が下がっている。	● リモコンの音量＋ボタンで音量を調節してください。	13
	● 消音になっている。	● 消音を解除してください。	13
	● アナログ接続ケーブルの接続が不完全である。	● しっかり接続してください。	9、10
	● デジタル信号が入力されていない。	● デジタル信号の入力機器を正しく選んでください。	13
DTS 音声信号が出ない。	● DVD プレーヤーの音声出力設定がビットストリームになっていない。	● DVD プレーヤーの初期設定をしてください。詳しくは DVD プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。	−
	● DVD プレーヤーが DTS に対応していない。	● DTS 対応のプレーヤーを使用してください。	−
	● 本機の入力設定がアナログになっている。	● デジタル入力を使用してください。	13
リモコンを操作しても正常に動作しない。	● 乾電池が消耗している。	● 新しい乾電池と交換してください。	5
	● リモコンの距離が離れ過ぎている。	● 近づいて操作してください。	5
	● 本体とリモコンの間に障害物がある。	● 障害物を取り除いてください。	5
	● 乾電池の ⊕、⊖ が正しくセットされていない。	● 乾電池を正しくセットしてください。	5
AAC 表示が点灯しない。	● BS デジタルチューナーと本機がアナログ接続になっている。	● デジタル接続にしてください。	9,10
サブウーハーから音が出ない。	● サブウーハーの出力が接続されていない。	● 正しく接続してください。	10

❏ エラーメッセージについて

表示内容

エラー表示	原　因	処　置
96	再生に対応していない（サンプリング周波数 96kHz）が入力された。	本機が対応する 32、44.1、48kHz に再生機器の入力を切り替えるか、アナログ接続にしてください。
Er	本機の内部回路が正しく動作していない。	電源を切って、再度電源を入れてください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
c1	本機の内部が高温になっている。	電源を切ってしばらく放置してください。
c2	スピーカーの接続に異常が発生した。	電源を切って、再度電源を入れ直してください。それでも“c2”が表示されるときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
c3	本機の内部が高温になっている。	電源を切ってしばらく放置してください。

保証とサービスについて

1 この商品には保証書を添付しております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書を添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

5 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

6 この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

7 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

主な仕様

❑ 本体

形式：	1 ウェイ・6 スピーカー
定格出力：	25W × 4（6 Ω）＋ 50W × 1（3 Ω）（JEITA）
入力感度：	500mV/47k Ωまたは 250mV / 47k Ω（切替可能）
周波数特性：	80Hz ～ 20kHz
S / N 比：	100dB
サブウーハープリアウト	
定格出力：	1.0V
電源：	AC100V、50/60Hz
消費電力：	電源入り（ON）時：55W（電気用品安全法による） 待機（スタンバイ）時：0.5W
スピーカーユニット：	8cm コーン型× 6
最大外形寸法：	フット不使用時：750（幅）× 118（高さ）× 138（奥行き）mm フット使用時：750（幅）× 140（高さ）× 138（奥行き）mm
質量：	5.1kg

❑ リモコン（RC-1094）

リモコン方式：	赤外線パルス式
電源：	単 4 形 乾電池 2 本使用
最大外形寸法：	49（幅）× 220（高さ）× 24（奥行き）mm
質量：	110g（乾電池を含む）

※ JEITA：（社）電子情報技術産業協会（略称：JEITA）が制定した規格です。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間　9：30～12：00、12：45～17：30
（弊社休日および祝日を除く、月～金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。

http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

Printed in China　5411 10004 103D